

令和 6 年度

事 業 報 告 書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

事業報告目次

総 括.....	1
----------	---

主な事業活動

1. 経営支援事業.....	2
2. 交通安全対策事業.....	3
3. 環境対策事業.....	7
4. 企画広報事業.....	8
5. 労働環境改善対策事業.....	9
6. 研修事業.....	10
7. 適正化事業.....	11
8. 災害物流対策事業.....	13

その他事業活動

9. 賀詞交歓会の開催.....	13
10. 愛知県トラック総合会館 竣工式の開催.....	13
11. 愛知県トラック総合会館 落成祝賀会の開催.....	13
12. その他活動.....	14

会 議

1. 会 議.....	15
2. 部 会 等.....	15

庶 務

1. 会 員.....	18
2. 役 員.....	18
3. 総 会.....	18
4. 表彰関係.....	18

参 考

- ・令和7年度 税制改正・予算に関する要望事項・結果

総 括

令和 6 年度の我が国の運送業界は、いわゆる「2024 年問題」による労働時間規制の影響が本格化する中、依然として続くエネルギー価格の高止まりや物価上昇、人手不足といった課題にも直面した一年となった。

こうした中でもエッセンシャルワーカーとしての使命を果たすべく、また、燃料価格や人件費、車両価格の高騰に対応するために、改正された標準的な運賃および標準運送約款を積極的に周知、活用を促すことで会員事業者が適正な運賃を収受できるよう支援を行なった。

また、物流の効率化、労働時間の改善に向けて、物流 D X の推進やそれに資する助成事業を実施するとともに、働き方改革関連法と改善基準告示見直しに関するセミナーの開催、あるいは働きやすい職場認証制度の周知及び取得支援の実施、さらには人手不足に対して業界の魅力や、やりがいを幅広く P R することで経営基盤強化を推進した。

運送業界のコンプライアンスについては、新たに創設された適正化事業調査員の活動を通じ、荷主企業や元請事業者による違反原因行為の是正を図り、トラック運送事業者の健全な事業運営を支援した。

さらに、一般市民への交通安全啓発活動を関係団体と積極的に実施することで交通事故の撲滅を目指したほか、中部トラック総合研修センターにおいてはドライバーの資質向上のための各種講習に多くのドライバーが受講した。

また、愛知県の要請を受けて会員事業者の協力のもと緊急物資輸送の要請にも迅速に対応した。なお、10 月に竣工した愛知県トラック総合会館は災害対策拠点として各種設備を備えており、災害における当協会の役割は一層重要なものとなった。

◎主な事業活動

1. 経営支援事業

国民生活と経済を支えるライフラインとして重要な役割を担うトラック運送事業者の経営基盤を支えるため、「標準的な運賃を活用した適正取引」と「デジタル技術を活用した運行管理の高度化」を積極的に推進するよう会員事業者に周知し、経営方針の一助となる施策を行った。

(1) 標準的な運賃を活用した適正取引の推進

① 改正「標準的な運賃」及び「標準運送約款」関連セミナーの開催

- ・「標準的な運賃及び標準運送約款告示改正等に係る周知説明会」

(R6. 5. 27) 参加者 192 名

- ・「標準的な運賃」活用セミナー（基礎編） (R6. 11. 5) 参加者 185 名

〃

（応用編） (R6. 11. 20) 参加者 81 名

② 改正「標準的な運賃」及び「標準運送約款」に係る周知

改正の趣旨や内容、届出に係る周知を図るため、国交省が制作した冊子やリーフレットを会員事業者に配布し広報を行った。

『「標準的運賃」Q&A集』

『トラック輸送の「標準的運賃」が改定されました』

『改訂 トラック輸送に係る標準的運賃の解説-令和6年3月告示版-』

『改正された「標準貨物自動車運送約款」が施行されます』

③ 運賃交渉個別相談会の開催

令和6年3月、標準的運賃の告示が改正されたことを踏まえ、荷主企業と会員事業者が抱える運賃交渉に関する課題の解消を図るため、個別相談会を開催した。

(R6. 9. 4、5、6) 参加企業 4 社

④ 適正な運賃料金での取引推進に関する啓発

原価計算による自社コスト構造の見直しや標準的運賃を活用した運賃交渉による適正取引の推進に関するチラシを配布した。

『適正取引の推進に関する啓発チラシについて』

(2) 新技術を活用した物流DXの推進

安全環境製品展示会 (R6. 8. 8) 出展企業 34 社 来場者 150 名

デジタル技術を活用して労働生産性の向上を図ることを目的とした運行管理の高度化を支援するための最新機器の展示会を開催した。

(3) 経営支援及び業務効率化に資する助成事業の実施

①交付金及び近代化基金果実による利子補給

◇近代化基金融資及び利子補給

・融資推薦

一般融資 14 件 300,690 千円

ポスト新長期適合車融資 46 件 1,048,130 千円

・利子補給額（全ト協負担分を含む） 9,335 千円

②信用保証料助成 65 件 18,913 千円

③各種技能講習受講助成 754 名

④貨物自動車運転免許取得助成 388 名

⑤中小企業大学校講座受講促進助成 21 名

⑥点呼支援機器導入助成 87 台

(4) 企業経営や業務改革などに資するセミナーの開催

①経営革新セミナー〔私が社長です。〕(R7.2.26) 参加者 143 名

②Microsoft Copilot 生成 AI 実践セミナー (R7.3.12) 参加者 44 名

③仕掛学セミナー (R7.3.13) 参加者 43 名

④支部セミナー (9 支部 17 回開催)

2. 交通安全対策事業

全日本トラック協会が策定した「トラック事業における総合安全プラン 2025」に掲げる基本目標の達成に向けて、各種施策を積極的に推進した。

(1) 交通事故防止活動の推進

◇愛ト協重点目標

- ・県内での会員事業所が第一当事者となる事業用貨物自動車交通事故死者数 3 人以下
- ・飲酒運転「ゼロ」
- ・運転中の携帯・スマートフォンの使用禁止の徹底
- ・交通弱者に配慮した予防運転の励行

〔愛知県内における交通死亡事故発生状況〕

	2024 年(1～12 月)		2023 年(1～12 月)	
県内発生数	—	141 名	—	145 名
事業用貨物	15 件	15 名	22 件	22 名
会員第一原因	3 件	3 名	2 件	2 名

①「トラック・セーフティ・ラリー」の実施（R6.7～12）

◇参加数：1,425 社（14,169 チーム）70,845 名

達成率：80.8%（11,454 チーム）

参加状況	計	第一	第二	第三	第四	尾東	尾西	知多	西三	東三
会員数	1,425	129	117	142	104	210	249	118	228	128
チーム数	14,169	2,481	1,140	893	895	1,586	2,187	682	3,338	967
参加人数	70,845	12,405	5,700	4,465	4,475	7,930	10,935	3,410	16,690	4,835
達成 チーム数	11,454	2,051	899	719	700	1,226	1,721	528	2,833	777
達成率	80.8%	82.7%	78.9%	80.5%	78.2%	77.3%	78.7%	77.4%	84.9%	80.4%

交通事故件数	死亡	重傷	軽傷	物損	計
ラリー期間	1	11	217	13	242
年 間	2	17	425	26	470

		飲酒等	シートベルト	携帯電話	超過速度		信号無視	通行禁止	追越通行
					30k 以上	30k 未満			
交 通 違 反	ラリー期間	10	225	159	63	404	525	400	41
	年間	12	482	357	127	737	1042	820	86
		一時停止	歩行者妨害	駐車違反	積載超過	幼児補助	その他	計	
	ラリー期間	739	165	58	1	11	172	2973	
	年間	1489	362	108	2	23	333	5980	

〈表 彰〉

・愛知県警察交通部長特別表彰

＊西三支部

(株)ユーネットランス

・中部運輸局長表彰

＊名古屋第四支部

服部鋼運(株)

・愛知県警察本部交通部長・愛ト協会長連名表彰

＊名古屋第一支部

(有)中村輸送、(株)エクシング 名古屋営業所、
ダイセイ倉庫運輸(株)

＊名古屋第二支部

幸栄運輸(株)、(株)グリーン・ネット、丸太運輸(株)

＊名古屋第三支部

ピアノ運送(株) 名古屋営業所、三英運輸(株)、佐川急便(株)

＊名古屋第四支部

T. S. R(株)、脇田運輸倉庫(株)、
(株)アサヒセキュリティ 名古屋南営業所

＊尾東支部

(株)陽光 犬山物流センター、(有)雅商事、(株)トヨナカ

＊尾西支部

(有)一善カーゴサービス、(株)水谷運輸倉庫 稲沢営業所、
勅使川原産業(株)

＊知多支部

菱東運輸(株)、アース・セーフティ・サービス(株)、
(株)ナルキュウ中部

＊西三支部

トヨタGHサービス(株)、三栄工業(株)、碧南運送(株)

＊東三支部

中部共栄運輸(株)、J C 物流(株)、(株)藤通

②トラック安全デー活動等の推進

- ・トラックの日に向けた県内統一トラックパレード (R6. 10/5. 6. 9)

場所：愛知県内全域

車両：トラック TV (アドトラック) 2 両 (3 日間)

- ・各支部における交通安全運動の展開 175 回
- ・各支部における交通安全講習会の開催 34 回
- ・スピードダウン！ゆっくり走ろう！運動の展開

③全日本トラック協会と協調した交通安全活動の実施

冬用タイヤへの脱着時に確実な作業の徹底を呼びかける「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」や自動車の安全確保のための予防的な点検・整備が確実に実施されるよう「トラック運送業界における点検整備推進運動」の広報・啓発を行った。

④輸送の安全確保に係る交通事故防止セミナーの開催

- ・運輸安全マネジメント制度セミナー (R6. 6. 3) 参加者 79 名
- ・プラン 2025 目標達成セミナー (R6. 8. 22) 参加者 57 名
- ・トレーラの安全な使用及び関係法令改正に関わる研修会 (R6. 7. 19) 参加者 40 名

⑤交通安全教育等に対する支援

- ・交通安全教育用DVD購入

安全運転の意識の欠如による交通事故が依然として多く発生しているため、従業員教育用としてプロドライバーのマナーやモラルの習得、交通安全意識の向上を図るための貸出用DVDを購入した。

- ・健康起因事故防止対策に関するテキスト配布

トラック運送業界が解決すべき課題であるドライバーの健康管理の取り組みを強化するため、全ト協が制作した教育用マニュアルを配布し、健康起因事故の防止に向けて周知を図った。

『トラック運送事業者のための健康起因事故防止マニュアル』

⑥メディアを活用した交通事故抑止の周知

年末の交通安全県民運動を含めた期間中に、テレビCMの他YouTubeやティーバーによるインターネット広告、又コンビニエンスストアやサービスエリアにおいて啓発動画を放映し、県民に対して法令遵守、交通安全について注意喚起を図った。

(2)「交通安全表彰」の実施

①交通安全特別栄誉賞（20年間無事故継続）	5社
②交通安全特別賞（10年間無事故継続）	15社
③交通安全金賞（7年間無事故継続）	18社
④交通安全銀賞（5年間無事故継続）	15社
⑤交通安全銅賞（3年間無事故継続）	28社
⑥1年間無事故認定	335社

(3)安心・安全を支援する助成事業の実施

①EMS機器導入助成	2,216台
②ドライブレコーダー導入助成	2,030台
③安全装置等導入助成	
・後方視野確認支援装置	369台
・衝突防止警報装置	2台
④運行管理者一般講習受講助成	
・自動車事故対策機構	1,375名
・ヤマト・スタッフ・サプライ	1,545名
⑤運転適性診断（初任・適齢）受診助成	
・自動車事故対策機構	5,487名
・ヤマト・スタッフ・サプライ	1,787名
⑥運輸安全マネジメント講習会受講助成	76名
⑦自動車安全運転センター 運転記録証明書等の取得（TSR分のみ）	71,921名
⑧脳・心臓ドック受診助成	
・脳ドック受診助成（VSRAD含む）	1,067名
・心臓ドック受診助成	355名

(4) トラックドライバーの輸送の安全に対する意識の向上策

〔愛ト協〕

◇第56回愛ト協トラックドライバーコンテストの開催（R6.9.8）出場者64名

大型部門	優勝	カリッソー(株)	岡崎営業所	遠藤寛人
中型部門	優勝	大興運輸(株)	半田支店	今福 慧
トレーラ部門	優勝	中京陸運(株)	湾岸営業所	上田準二
女性部門	優勝	(株)バンテックセントラル	豊田営業所	川端はるな

〔全 国〕

◇第56回全国トラックドライバー・コンテストへの出場（R6.10.26～27）
4トン、トレーラ、女性部門へ1名ずつ出場

3. 環境対策事業

トラック運送業界のカーボンニュートラルに向けた取り組みとして、「環境ビジョン2030」で設定されたサブ目標に基づき、環境にやさしいトラック輸送の実現を目指して、次の施策を実施した。

(1) 省エネ運転技術のさらなる向上と環境保全意識の高揚

◇第13回省エネ走行競技会の開催（R6.12.1）15社 出場者28名

(2) 環境対策事業の推進

道路環境を維持する活動への取り組み

全国的にゴミの不法投棄が問題となる中、業界として環境保全の重要性を強調し、イメージダウンを防ぐ取り組みとしてNEXCO中日本と合同で名神高速道路尾張一宮パーキングエリアおよび側道において清掃活動を実施した。（R6.7.8）

(3) カーボンニュートラルを促進、推進する助成事業の実施

①環境対応車導入促進助成

・ハイブリッド自動車

13台

②グリーン経営認証取得助成

新規1社／更新76社

③アイドリングストップ支援機器導入助成

20台

(4) 環境対応車（FC商用車）普及に向けた協力

愛知県が世界に誇る水素産業地点及び水素社会を形成するため、組成した「あいち水素関連プロジェクト」の取り組みに協力した。

①大型水素ステーションワーキンググループへの参加（4回）

②あいち物流脱炭素化推進会議への参加（2回）

③県の取り組みに関する周知の機会提供（R6.7.10）

④FC・BEVトラック試乗会&日常点検講習会の開催（R6.7.31）

⑤FC商用車の導入に向けた総決起集会への出席（R7.3.20）

(5) 環境関係団体との連携協力

① 国道 23 号通行ルール（名古屋南部地域）の周知

「名古屋南部地域クリーン交通ネットワーク」の取り組みの一環として、大型車に中央寄り車線の走行を促す国道 23 号線通行ルールの定着に向け、関係機関と連携を図り引続き周知を行った。

② 環境改善に係る各協議会への参加と情報共有

公害防止、環境保全に関する各協議会へ参加し、環境改善に係る取り組みについて関係機関と情報共有を図った。

4. 企画広報事業

トラック輸送の重要性や必要性を幅広い年代に P R し、多くの就職希望者を増やすことを目的として次の事業を実施した。

(1) 人材確保対策

① 就職支援

- ・ 就職面談会の開催（ウインクあいち）

出展 37 社／来場者 151 名 のべ面談数 495 名 [R6. 9. 8]

- ・ 就職面談会の開催（オンライン）

出展 20 社／来場者 21 名 のべ面談数 52 名 [R7. 3. 8]

- ・ ハローワーク主催 就職相談会等への開催協力

ハローワーク名古屋中 [R6. 5. 2] 運輸事業所向け人材確保セミナー

ハローワーク春日井 [R6. 8. 21] 出展 6 社／来場者 17 名

ハローワーク名古屋中 [R6. 8. 22] 出展 4 社／来場者 15 名

ハローワーク豊橋 [R6. 9. 4] 物流業界セミナー 来場者 19 名

ハローワーク名古屋中 [R6. 9. 13] 出展 6 業界／来場者 80 名

ハローワーク犬山 [R6. 12. 2] トラックセミナー 来場者 16 名

- ・ 一般求職者向け会員専用求人サイト「Entry pocket」の開設運用
参加 398 社／閲覧数 278, 081 ページビュー／応募 208 名

- ・ 人材確保対策特設サイト「truckaichi.com」の開設運用
閲覧数 163, 937 ページビュー

② 教育機関向け活動／P R

- ・ 高校内進路ガイダンス

（松平高校 R6. 6. 13、誉高校 R6. 6. 19、豊橋中央高校 R5. 6. 19、
福江高校 R6. 11. 28、誠信高校 R7. 3. 7）

- ・ 会場形式進路相談会

（津島会場 R6. 4. 11、津島会場 R7. 2. 6、豊田会場 R7. 3. 13）

③ セミナーの開催

- ・ 第 1 回 人材確保労働環境改善セミナー [R6. 6. 14] 参加者 34 名
- ・ 第 2 回 人材確保労働環境改善セミナー [R6. 11. 28] 参加者 61 名

（２）トラック業界PRイベントの開催

① 業界PRイベントの開催 [R6. 6. 29]

場 所：オアシス 21（銀河の広場）

来場者：約 2,500 名

（３）機関誌「トラックあいち」、ホームページ、SNS による情報提供の充実

① ホームページ 1,108,929 ページビュー／407,957 ユーザー

② ツイッター 8,360 インプレッション

③ トラックあいち 毎月 1 回 12 回発行

④ 公式マスコットキャラクターあいとの運用（計 21 回出動）

（４）各種メディアによる広報

① バンテリンドーム ナゴヤ [R6. 8. 8～R6. 9. 22]

中日ドラゴンズのホーム戦において、令和 5 年度に製作した業界PR動画をデジタルサイネージにて放映。

② 豊田スタジアム [R6. 8. 11～9. 28]

名古屋グランパスエイトのホーム戦において、令和 5 年度に製作した業界PR動画をデジタルサイネージ及び大型ビジョンにて放映。

③ テレビCM [R7. 3. 3～3. 27]

名古屋テレビが放送する朝の情報番組において、令和 5 年度に製作した業界PR動画を放映。

（５）「トラック Fes2024」の開催

① トラック Fes2024 の開催 [R6. 10. 14]

場 所：ポートメッセなごや（第 3 展示館・第 2 展示館）

来場者：約 10,000 名

（６）社会貢献

① 名古屋市社会的養護施設協議会へ、交通安全啓発品やサッカーレプリカユニフォーム等を寄贈。

5. 労働環境改善対策事業

働き方改革実現に向けて、運転者の職場環境改善を支援するため、「働きやすい職場認証制度（運転者職場環境良好度認証制度）」の取得支援及び広報活動を実施するとともに、「生産性の向上」「法令遵守」「労働災害防止」に係る活動を展開した。

（１）働き方改革関連法と改善基準告示見直しへの対応

① 2024 年問題関連セミナーの開催

・改善基準告示解説セミナー [R6. 5. 29] 参加者 118 名

[R7. 2. 21] 参加者 71 名

② 外国人特定技能制度に関する説明会 [R6. 5. 10] 参加者 48 名

③ 中部ブロック 物流改正法説明会 [R7. 3. 21]

会場参加 170 名、WEB 参加 869 接続

(2) 『働きやすい職場認証制度』の周知及び取得支援

① 働きやすい職場認証取得支援セミナー [R6. 6. 14] 参加者 42 名

② 働きやすい職場認証取得促進助成金 (申請 161 社)

③ P R 用ステッカーの制作配布

(58 社 2, 675 枚)

④ 「働きやすい職場認証」ラッピングトラック

・ラッピングトラックの走行 [R5. 10. 1~] 事業者 9 社、計 9 台

・トラック Fes 展示 [R6. 10. 14]

・はたらくのりものと自動車安全・環境フェスタ出展 [R7. 3. 8]

⑤ 就職面談会にて周知

(3) 「物流革新に向けた政策パッケージ」の周知および促進

① 労働環境の改善に向けたセミナー

・労務リスク対策セミナー [R7. 2. 14] 参加者 55 名

② 中部ブロック 物流改正法説明会 [R7. 3. 21]

会場参加 170 名、WEB 参加 869 接続

(4) 労働災害防止対策の推進

① 労働災害防止に係る活動

道路貨物運送業における労働災害防止を効果的に進めるため、愛知労働局による県下一斉パトロールに協力し、各支部にて合同パトロールを実施した。[局幹部合同 R6. 9. 25 江南、県下 9 監督署合同 R6. 9. 18~10. 10]

② 健康起因事故防止セミナー等の開催

・健康管理セミナー [R6. 9. 6] 参加者 78 名

(5) 愛知県トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会の開催

地方協議会を愛知運輸支局と共同開催し、荷主や行政等と情報を共有し認識の統一を図った。(第 19 回 [R6. 7. 22]、第 20 回 [R7. 2. 27])

6. 研修事業

物流事業の総合的スキルを身に付けるため、ドライバー、事務職員、管理職等の職種や経験に合わせた研修カリキュラムの充実を図り、貸出型の適性診断 (一般) と出張型の運行管理者一般講習も継続して行った。

(1) 研修事業

◇乗務員対象研修

・ドライバー研修(基本プラン)

16 回 110 名

・ドライバー研修(初任プラン)	16回	177名
・ドライバー研修(一般プラン)	6回	32名
・ドライバーキャリアアップ研修	10回	35名
・乗務員研修 (ドライバー運転1日、添乗指導者養成他)	95回	791名
・運転練習支援	5回	5名

◇事務職・管理職対象研修		
・リーダー能力向上研修	2回	39名
・事務員初級研修	1回	20名

◇経営者・管理者・指導者対象研修		
・第32期 物流大学校講座	43社	52名
・第28期 物流安全管理士講座	22社	28名

◇会員独自の研修会等の開催支援 (カスタマイズ研修等)		
・研修・講習・競技会等	345回	8,470名

(2) 運転適性診断事業

◇初任診断	339回	2,581名
◇適齢診断	299回	790名
◇一般診断(研修、貸出)	201回	2,074名

(3) 運行管理に関する講習事業等

◇基礎講習	9回	593名
◇基礎講習 (出張)	1回	59名
◇一般講習	11回	966名
◇一般講習 (出張)	11回	687名
◇運行管理者試験対策講座	3回	138名

(4) 総受講者数 (受診者数含む)	17,647名
--------------------	---------

7. 適正化事業

貨物自動車運送事業法をはじめとする、関係法令の改正等の周知・対応に重点を置き巡回指導を実施した。また、法令遵守等の一助となるセミナー・研修会を開催した。

(1) 適正化事業の推進

①巡回指導

◇通常巡回	1,571事業所
◇新規巡回	234事業所
◇特別巡回	14事業所

※通常・新規巡回評価内訳

A評価 1,133 件/B評価 464 件/C評価 169 件/D評価 27 件/E評価 9 件
その他 17 件

②法令遵守体制の構築支援

「運輸安全マネジメント掲示用ポスター」、「参考事例・解説集」と
いった各種リーフレットを作成・配布した。

③ 法令遵守等のセミナーの開催 [R6.11.22] 参加者 259 名

- ・運輸行政の取り組み状況について
- ・トラックの車輪脱落事故防止とタイヤの適正な管理について
- ・すべての疲労は脳が原因

(2) フォローアップ体制の強化

巡回指導における総合評価 C・D・E 判定の事業者及び改善基準告示の項目に指摘のあった事業者及び特別巡回指導を実施した事業者を対象とした「フォローアップ研修会」を開催し、包括的な法令の周知と意識改善の向上を図った。

◇フォローアップ研修会 (3 回)	193 事業者
(オンライン配信)	92 事業者

(3) 新規事業者等に対する法令遵守の推進

◇新規事業者講習会 (3 回)	11 事業者
-----------------	--------

(4) 指導員の資質向上及び各組織との連携

◇愛知県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会	1 回
◇中部ブロック適正化事業実施機関と中部運輸局との連携合同会議	1 回
◇中部ブロック適正化事業連絡会議	1 回
◇行政関係機関等の連絡会議	13 回
◇労働局との合同による巡回指導	31 回
◇中部ブロック適正化事業指導員小規模グループ研修会	1 回
◇全国貨物自動車運送適正化事業実施機関研修会 (初級研修、特別研修、スキルアップ研修)	5 回

(5) 安全性評価事業 (G マーク) の認定に向けた支援

◇申請事前相談会の開催	95 事業所
◇認定事業者数 435 事業者 584 事業所 (うち新規 78 事業所)	
(県内認定対象総数: 4,697 事業所中 1,941 事業所認定/認定率 41.3%)	

(6) 適正化事業調査業務に係る違反原因行為の調査等の実施

◇調査実施事業所	778 事業所
◇国への情報提供	22 件
◇啓発活動	3 回

8. 災害物流対策事業

大規模災害の発生に備え、緊急輸送体制及び各拠点における備蓄品等の更なる整備に努めるとともに、全日本トラック協会と連携し自治体の要請に的確に対応できる人材の育成と訓練を実施した。

(1) 災害物流体制の整備

事業継続計画（BCP）に基づき、緊急輸送車両依頼事業者等の拡大に努めるとともに、広域災害発生時に研修センターが活用できるよう資材を整備した。

(2) 災害物流専門家の育成

全日本トラック協会と連携して行う「災害物流専門家研修」を実施した。

第1回 [R6. 7. 22] 総合型 参加者 40 名

第2回 [R6. 9. 18] 総合型 参加者 35 名

第3回 [R7. 2. 18] 総合型 参加者 37 名

(3) 総合防災訓練への参加

◇防災訓練参加回数：5 回

◇参 加 台 数：6 台

◇参 加 人 員：8 名

(4) 高病原性鳥インフルエンザへの対応

令和7年1月に県内で発生した高病原性鳥インフルエンザに対し、愛知県からの要請に基づき、会員事業者協力のもと物資輸送を行った。

◇協力会員：2 社 2 両

◇輸送品目：水

9. 賀詞交歓会の開催 (R7. 1)

◇場 所：名古屋東急ホテル

◇参加者：220 名

10. 愛知県トラック総合会館 竣工式の開催 (R6. 11)

◇場 所：愛知県トラック総合会館

◇参加者：39 名

11. 愛知県トラック総合会館 落成祝賀会の開催 (R6. 11)

◇場 所：名古屋東急ホテル

◇参加者：203 名

1 2. その他活動

(1) 各種陳情要望

- ◇公明党 愛知県本部団体懇話会 (R6. 7. 22)
 - ・要望：トラック運送業界からの最重点要望事項
- ◇自由民主党 愛知県支部連合会 交通・運輸関係団体政策懇談会 (R6. 9. 5)
 - ・要望：トラック運送業界からの最重点要望事項
- ◇愛知県 大村知事・運輸振興議員連盟への政策要望 (R7. 1. 14)
 - ・要望：地方創生臨時交付金を活用した燃油価格高騰補助
- ◇令和7年度 税制改正・予算に関する要望活動
 - ・要望先：衆議院議員 24 名、参議院議員 8 名

(2) 支部活動の充実

本部・支部・研修センターが連携し、各種行事への参加に努めた。

(3) 未加入事業者の入会促進(入会会員：55 社)

- ◇適正化事業実施機関が行う巡回指導
- ◇中部運輸局愛知運輸支局講習会での説明(3 回)

(4) 部会機能の活動支援

品目別部会、青年部会、女性部会の活動を支援するため、全日本トラック協会の各部会との情報交換等に努めた。

(5) 働き方改革関連法への対応

協会事務局において、勤怠管理システムの導入による適切な勤怠管理に加え、グループウェアをはじめとする業務効率化ツールの習熟を深め、労働時間の短縮等に努めた。

(6) 調査研究の推進

全日本トラック協会及び愛知県名古屋市道路利用者会議と連携し、行政機関に対して渋滞箇所や休憩場所について改善されるよう要望活動を行い、道路交通環境改善に努めた。また、重要物流道路や重さ・高さ指定道路についても要望活動を行った。

(7) S D G s (持続可能な開発目標) のイベント後援

中部圏 S D G s 広域プラットフォームが S D G s の機運醸成を図り S D G s に取り組む自治体、企業等との連携強化をもって中部圏の持続的な発展を目指すために開催した「中部圏 S D G s フェスティバル 2024」のイベントに対し後援を行った。

◎会 議

1. 会 議

◇理 事 会	5 回
◇常任理事会	10 回
◇正副会長会議	9 回
◇総務委員会	14 回
・業務施設運営専門委員会	6 回
◇交通環境・経営対策委員会	4 回
◇災害対策委員会	2 回
◇適正化事業特別推進委員会	2 回
◇研修センター運営委員会	1 回
・研修検討委員会	1 回
◇広報・労働委員会	5 回

2. 部会等

(1) 特別積合せ部会 (29 社)

輸送秩序の確立を図るため、「運営委員会（営業連絡会、幹事会）」「ブロック会議」（名古屋中・南、小牧、一宮、西三河、東三河の県内6ブロック）を開催し、諸問題について会員相互の情報交換を行い、連携を深めた。

(2) 青年部会 (136 社)

若手経営者の自己研鑽の場として、セミナーや会員交流事業等を三つの委員会（研修・事業・企画）で協議を重ね開催した。10月には全ト協中部ブロック大会が福井県にて開催され、全国の青年経営者との交流を深めた。その他、全国の他ブロック大会への参加、他団体青年組織との交流会を行い、積極的に意見交換を行った。ライブ配信やオンライン会議を積極的に活用し、次年度に向けた先進的事業の調査研究にも取り組んだ。

(3) 女性部会 (29 社)

部会として業界動向セミナーを開催し、法改正による業界への影響と今後の展望について学んだ。また、11月に全ト協中部ブロック研修会を愛知県名古屋市で開催し、他団体女性組織との交流会を行い、部会活動について積極的に意見交換を行った。

(4) 品目別部会

◇中部タンクトラック部会 (53 社)

石油委員会では、危険物取扱の安全確保・未然事故防止を目的とした「荷卸し時の相互立会い」推進活動、「単独荷卸しに係る運行管理者研修」を昨年に引き続き実施。高圧ガス委員会は、2024年問題

の意見交換会、液体薬品委員会は、日本車輛製造㈱へ視察研修、経営研究委員会は、トラックGメンセミナーを開催するなど会員に必要な情報を共有した。

安心・安全に関しては、災害や事故などの不測の事態に会員各社が協力して社会的な影響を最小限に抑えるための相互援助協定である

「99ネット中部」を継続した。全日本トラック協会にて行われた会議内容及び各部会員の課題について、会員相互の情報交換を積極的に行った。

◇生コン部会（23 社）

厳しい経済状況に対応すべく各種会議を定期的に行い、適正運賃の収受について議論した。実務担当者会議を開催し会員相互の情報交換を積極的に行ったほか、全日本トラック協会生コン部会を通じ全国の部会員との連携強化や事故防止活動に努めた。

◇セメント部会（18 社）

荷主との懇談会等を開催し、適正運賃の収受の必要性やトラック運送業界が抱える問題の情報発信に努めた。会員向けセミナーでは、乗務員定着のための人事制度について学んだ。また、全日本トラック協会セメント部会を通じ全国の部会員との連携強化や事故防止活動に努めた。

◇ダンプトラック部会（15 社）

全日本トラック協会ダンプトラック部会の会議及びワーキンググループに積極的に参加し、他県との意見交換を行うとともに、（一社）日本建設業連合会、（一社）全国建設業協会、（一社）日本道路建設業協会、東日本高速道路（株）、（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対し、「建設資材等のトラック運搬に係る契約の適正化について」（令和6年3月26日付け国不建第180号 国不建整第181号 国自貨第804号）の内容を踏まえた標準的な運賃の収受に向けた支援要請活動を行った。また、会議等の内容は、部会員に展開し、会員相互の連携と協力を深めた。

◇海上コンテナ部会（267 社）

集中管理ゲート及び SOLAS 条約に基づく出入り管理情報システムの管理・運用を行った他、「国際海上コンテナの安全輸送ガイドライン」の周知状況等について、関係行政や関連団体と協議・協力を行った。

毎月ターミナルパトロールを実施し、構内ルールの遵守や安全運行を呼び掛けるとともに、港湾道路における路上駐車シャーンシの改善指導を行った。更に、蟹江警察署、愛知運輸支局等と合同による緊締装置の街頭指導を実施し、横転事故防止にも努めた。

ドライバーの更なる交通安全意識向上のため、蟹江警察署協力の元、交通安全講習会を開催した。

名古屋港管理組合、飛島村役場と合同による「クリーンキャンペーン」と題し、地域の清掃活動を行った。

国際海上コンテナ輸送に特化した、物流の2024年問題対策セミナーを開催した。

名古屋港における返却コンテナ清掃・洗浄問題等付帯作業について中部運輸局、業界団体と連携し勉強会を開催した。

◇重量品鉄鋼部会（43 社）

全日本トラック協会3部会（重量部会、鉄鋼部会、鉄骨・橋梁部会）の会議及び研修会へ積極的に参加し、他県部会員と意見交換や交流を図った。また、特殊車両の通行許可及び通行確認制度に関する知識習得や重量物・長大物輸送の関係法令の改正等について学ぶことを目的とした経営支援セミナーを開催し、部会員が情報収集できる機会を設けた。

◇食料品部会（28 社）

会員相互の意見交換並びに情報共有を図るため役員会を開催した他「トラック運送業のための事故防止セミナー」を実施した。また関わりの深い愛知県冷蔵倉庫協会と意見交換会を実施し、食料品業界の労働環境の改善と発展に努めた。

◇引越部会（25 社）

セミナーを開催し輸送の安全を取り巻く現状と取組みについて学ぶと共に、部会独自のホームページを活用し部会員へ最新情報を積極的に提供した。引越講習（基本・管理）には、当部会からも多数参加し、引越運送約款を中心とした基礎知識の習得・再確認と専門知識の習得に努めた。

◎庶 務

1. 会 員

令和7年3月31日現在

会員総数 2,694 社

支部	会員数	支部	会員数
名古屋第一支部	210	尾 西 支 部	506
名古屋第二支部	207	知 多 支 部	268
名古屋第三支部	227	西 三 支 部	414
名古屋第四支部	206	東 三 支 部	245
尾 東 支 部	411	合 計	2,694

※入会：54 社・退会：49 社

2. 役 員

◇役員数 (R7. 3. 31 現在)

- ・会 長 1 名
- ・副 会 長 6 名
- ・常 任 理 事 25 名
- ・理 事 59 名
- ・専 務 理 事 2 名
- ・常 務 理 事 1 名
- ・監 事 3 名

3. 総 会

◇第 18 回 通常総会 R6. 6. 17 (名古屋東急ホテル)

4. 表彰関係 (敬称略)

(1) 国土交通大臣表彰

◇道路運送事業等運転者永年勤続

大成運送(株)	運転者	1 名
トヨタ輸送(株)	運転者	1 名

(2) 中部運輸局愛知運輸支局長表彰

◇事業役員	名備運輸(株)	代表取締役社長	丸川 靖彦
◇運転者	1 名		
◇団体職員	1 名		

(3) 中部運輸局優良事業者表彰(安全性優良事業所)

◇22 事業所

(4) 中部運輸局愛知運輸支局優良事業者表彰(安全性優良事業所)

◇25 事業所

(5) 警察関係表彰

◇交通栄誉章「緑十字金章」

・運転者 1 名

◇交通栄誉章「緑十字銀章」

・運転者 2 名

◇中部管区警察局長・中部交通安全協会協議会長連名表彰

・運転者 4 名

◇交通栄誉章「緑十字銅章」

・運転者 7 名

◇愛知県警察本部長・愛知県交通安全協会会長連名表彰

・運転者 32 名

(6) 全日本トラック協会表彰関係

◇全ト協表彰規程による表彰

・事業役員 日急(株)

興和運輸(株)

斎藤運輸(株)

(有)ヤマコン

青葉運輸(株)

愛協産業(株)

知立大興(株)

ホイテクノ物流(株)

代表取締役社長 安藤 純広

代表取締役社長 岡崎 直人

代表取締役 齋藤 栄一郎

代表取締役 山田 享

会長 蓑田 良信

取締役社長 鷺見 成起

代表取締役社長 齊藤 憲太郎

代表取締役社長 加藤 雅仁

・優良運転者 6 名

◇優良運転者顕章

・金十字章 43 名

・銀十字章 160 名

(7) 全ト協「正しい運転・明るい輸送運動」表彰

◇9 事業所

名古屋第一支部 磯部興業(株)

名古屋第二支部 (株)引越社

名古屋第三支部 (有)紀友興業

名古屋第四支部 此花運輸(株)

尾東支部 名北陸運(有)

尾西支部 (資)愛濃運輸

知多支部 (株)久津運送店

西三支部 藤久運輸倉庫(株)

東三支部 タカラ梱包輸送(株)